

平成29年度 第2回 府中市立学校通学区域審議会審議の概要

議事

- ・アンケート結果の説明後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

(○：委員、●：事務局)

- ：昭和45年に決められた旭小学校区広谷区域は、通学区域ということで今も生きています。そのため山崎会長が代表を務められている青少年育成市民会議では、広谷は府中学園の区域になっています。次にアンケートの結果を見ると、保護者が大変悩まれていることが分かります。保護者アンケートで「現行どおりが33%」「就学時選択が25%」になっていますが、この2つはある意味で、保護者の同じような考えであると考えております。府中学園で6年生から7年生へ進級になりますが、旭小の子がもし府中学園に行ったら編入ということで慣れるまで時間がかかることが想像できます。よって小1から選択できるというのも頷けます。中学校の学園生活の中では、「一中は楽しい」とか「府中学園では転校生扱い」「慣れるまで時間がかかる」とか「通学のこと」とかいろんな意見が出ていますが、「慣れるのに時間がかかる」というのは、ある意味で、社会に出た時に慣れた者どうしが仕事をしたりするわけではないので、社会経験の一つと考えるのも悪いことではないと思います。もし仮に、一中しか選択できない場合は、通学バスを出してほしいという意見があります。家庭に運転免許をもっていない家庭や仕事で送迎が難しい方もおります。保護者が忙しくて他の方に頼めない場合もあります。そうすると、通学バスの問題も、どうしても一中になれば検討していかねばならないと思います。約10年前の木下あいりちゃん事件、今年、群馬県で起きたPTA会長による児童殺人の事件は、絶対あってはならないことですが、最悪の事態を想定して物事を考える必要があると思います。
- ：町内会長が言われましたスクールバスの件で、今年一中に通っているのは8名ですが、これから先は少子化が進んで、学校から帰宅する際、一人で帰らないといけないことも考えられます。安全・安心に登下校するには、今はどちらに通うか決まるか分かりませんが、一中に通学するように決まったら、「通学バスで通うこと」を答申の中に入れていただきたいです。
- ：円グラフで、3～6年生どの学年も「就学時選択」が4分の1、6年生はほとんど半分ですが、アンケートの結果の次のページにあります。4年生の欄で、「同じ町内なのに小学校がばらばらなるのはどうでしょうか」という意見が書いてあります。就学時に広谷町の子どもたちがばらばらに旭小学校と府中学園に分かれていくと、学校で行事も違いますし、友達をつくるうえで、この意見の通りだと思います。
- ：現状、広谷町はみんな旭小に通っているのですが、子供会の面と中学生の育成会の面でいくと、今は旭小なので子供会はうまくまとまっていますが、中学校の部分については、2つの学校に行っているため、育成会は、今は昔の流れで、府中学園に行っ

いる親が育成会を町内でやることになっています。したがって、一中に行っている保護者は、育成会に入っていない状態であります。子供たちも町内の行事に呼ばれているのか、呼ばれていないのか分かりませんが、親としても町内の育成会に関われないのが現状であります。今年度は、府中学園に行く子供が0人になったので、今後は、府中学園から一中に行っている保護者に、育成会の担当を切り替えないとはいけません。広谷町の育成会の役割をすべて、今まで長年してきたことを一度リセットする必要があります。

- ：アンケートで6年生の保護者が、現行どおりでなく、一中と書いてあり、決断される時に一中に行かれるのかなとは想像できます。就学時選択がこれだけ数字がでてるのは、小学校に上がる時に決めておけば、そのまま行けるのかなと思います。アンケートの意見で書いているように、保護者が悩まないよう、どちらかに決めておいてほしいということではないかと思います。
- ：私は同じ町内の子供が2つに分かれるのは、本来はいけないと思います。だけど、2つの学区制度ができていますので、そこで分断されるわけですよ。どうしたら、子供たちがよくなるのかを考えていかないといけないと思います。
- ：アンケートから読み取れることは、「近い方がよい」という要望があると私は感じました。ですから、就学時の選択がよいという項目もありますが、実際保育所から小学校にあがる1年生の子供が、広谷から府中学園に行くのが本当に良いのか、旭小学校の方が近いからそっちのほうがいいのか、保護者の方からすれば近いほうを選択されるのではないかという気がします。進学した学園の生徒も近いから選んだというアンケートもあります。保護者としては近い方が安心できると考えているのではないかと私は思います。
- ：保護者の立場から言わせてもらいますが、小学校1年生に上がる時に、学校を選択する場合、ぼくは確実に近い方に行けと言います。やっぱり子供が小さいから、自宅から近いほうを選ぶと個人的には思います。
- ：就学時選択を選ばれた方は、「中学校に上がる時に選択することをできれば避けたい」という思われた方がずいぶん多いかなと思います。そうすると、中学生が近づくにつれ、6年生は「現行どおり」が20人中1人で、5年生も14人中5人ですと、「ある程度方向性を決めておいてほしい」ところがあるのではないかと思います。就学時選択をもし取られても、おそらく先程から意見として出されている「近くの学校」を選ばれると思いますし、近くの学校に行ったら、そのまま決まった中学校に行くという声が、アンケートでも多いのかなと思います。結果的には、どちらの学校に行きましても、府中学園は多少慣れるまでに時間はかかった声はありますが、通っている子は比較的、好意的な意見を出していると思います。どちらの学校を選んでも問題はないと思う。おそらく親の方からすれば、ある程度行き先を決めてもらったほうがいいかなと思われる方が多いのではないかと思います。

- ：アンケートを見て、第一中学校を8人が選んで、府中学園を1人しか選ばれていない結果を見れば、答えは出ているのかなと思います。
- ：数字的には「現行どおり」が多いということはどう見ればいいのかと思います。ただ、記述を読むと色々な声の中に「この機会にはっきりしてほしい」という切実な声が大変印象に残っています。でも、現行どおりが多いということで、どちらかに決めるとなると悩みがあって困るという思いと、でも決めてほしいなという切実な思いを受けとめました。
- ：どこへ行っても同じ教育を受けられることが非常に重要だと思います。ただ、こういうことは大人が決めないといけないと思います。
- ：アンケートの結果、とび抜けた結果はありませんが、アンケート結果を基に答申の方向性を出せばよいと思うと、「現行どおり」がやはり多いので、「現行どおり」がいいと思います。
- ：3年生～6年生の円グラフの結果を見ると、6年生はほとんどの子が一中ということで、後の3・4・5年生は、「現行どおり」が多いように思います。3・4・5年生を見ると、一中の割合がかなり高いと思うのでそういう方向でいった方が私にはいいのではないかと思います。
- ：結論から言って、広谷町の方は一中に行った方がよいと思います。アンケートにありますように「どちらかに決めてほしい」というのが、はっきり保護者の声であります。一中は府南学園なので、一中に行く流れをつくったほうがいいのではないかと思います。
- ：アンケート結果から、「通学距離」の理由を除くと、「友達」という理由が一番多いです。一中だと53%、府中学園だと30%であり、距離が関係ないと子供たちは友達と離れたくないというのが本音だと思います。やはり、どちらかに分かれるのではなく、同じ学校に通ったほうが子供たちのためになると思います。
- ：もし、通学区が変わるのなら、来年から変わるのか、一定の期間は緩和措置があるのか、今のところどのように考えておられますか。
- ：府中学園ができたときも移行期間ということで、岩谷小は一中でも府中学園でもどちらでもよいという期間がありましたので、移行期間を設けてあげたほうがよいです。
- ：一度に転換するのは難しいと思われるので、猶予期間はいるのかなと思います。
- ：スクールバスの問題については、広谷町は住民要望がありますので、検討していただきたいです。